

議会だより

声のかけ橋

9人の議員が市政を問う 7

事務事業評価、執行部の回答は… 20

キラリ★ひと言 24



三重総合高校吹奏楽部による
議場コンサートを開催

令和5年第1回定例会

(会期 2月20日～3月16日)

2

月20日から第1回定例会が開かれました。

今定例会では、諮問2件、50議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。

また、最終日には請願1件を採択し、意見書1件を可決しました。

2月28日と3月1日に行われた一般質問には、9人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。(7～16ページ参照)

今定例会には、延べ10人の方々が傍聴に訪れました。

令和4年度一般会計補正予算(第10号)

4億7039万1千円

減額

《一般会計予算総額》

286億6707万7千円

豊後大野市三重町駅前広場条例の制定

三重町駅前広場を設置

→ 三重町駅前に憩いとふれあいの場を確保することにより、市民の交流を促進し、にぎわいと活力のあるまちづくりに寄与するため、豊後大野市三重町駅前広場を設置するものです。



整備が進む三重町駅前周辺

財産の取得について

水槽付消防ポンプ自動車を更新



更新前の水槽付消防ポンプ自動車
(消防本部西分署)

消防本部西分署に配備している水槽付消防ポンプ自動車を更新するものです。

相手方

〔住所〕大分市長浜町2丁目2番32号
〔名称〕株式会社消防防災 大分本店
〔代表者氏名〕本店長 葛城 繁利

購入金額

61,336,000 円

財産の無償譲渡について

旧通山幼稚園の建物の無償譲渡



旧市立通山幼稚園（犬飼町柚野木）

閉園となっていた旧豊後大野市立通山幼稚園の建物を認可地縁団体である長谷自治区に無償で譲渡するものです。

譲渡の相手方

〔住所〕豊後大野市犬飼町柚野木186番地
〔名称〕長谷自治区

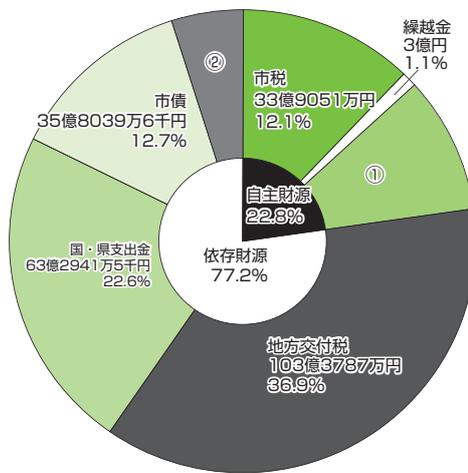
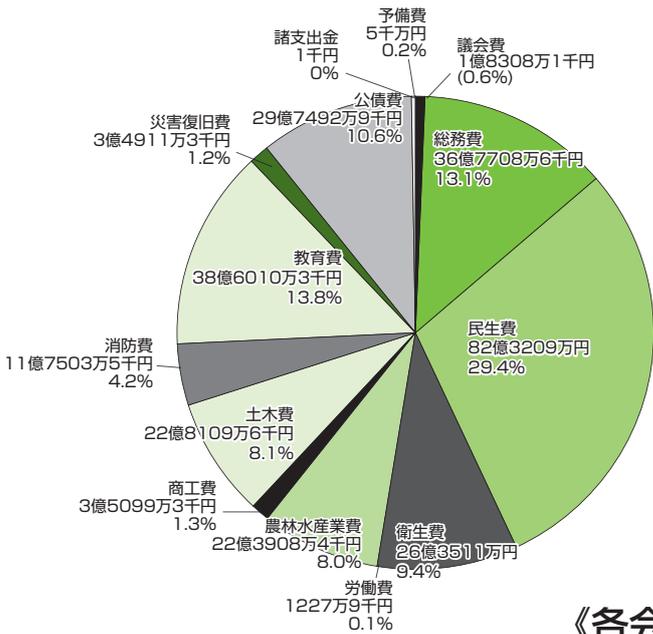
令和5年度一般会計予算 280億2000万円

令和5年度の一般会計予算総額は、前年度当初予算額と比較して、7.8%増の280億2000万円です。

《一般会計予算の内訳》

歳出合計 280億2000万円

歳入合計 280億2000万円



- ① その他自主財源
26億9072万6千円 (9.6%)
【内訳】
◆負担金及び負担金 4億30万5千円 (1.4%)
◆使用料及び手数料 4億3638万1千円 (1.6%)
◆財産収入 4577万円 (0.2%)
◆寄附金 2億4010万1千円 (0.8%)
◆繰入金 13億6854万1千円 (4.9%)
◆雑収入 1億9962万8千円 (0.7%)
- ② その他依存財源
13億9108万3千円 (5.0%)
【内訳】
◆地方譲与税 4億945万2千円 (1.5%)
◆地方交付金 9億8163万1千円 (3.5%)

《各会計の予算状況》

会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
特別会計				
国民健康保険	49億7096万9千円	47億7360万8千円	1億9736万1千円 増	4.1% 増
後期高齢者医療	7億89万2千円	6億8670万円	1419万2千円 増	2.1% 増
介護保険	66億4916万円	66億8791万3千円	3875万3千円 減	0.6% 減
農業集落排水	1億9014万1千円	1億9074万1千円	60万円 減	0.3% 減
浄化槽施設	3421万2千円	4390万3千円	969万1千円 減	22.1% 減

会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
企業会計	電気事業				
	収益的収入	1億1220万3千円	1億800万2千円	420万1千円 増	3.9% 増
	収益的支出	6773万8千円	8090万3千円	1316万5千円 減	16.3% 減
	資本的収入	1千円	1千円	-	-
	資本的支出	5524万1千円	530万1千円	4994万円 増	942.1% 増
	水道				
	収益的収入	5億7561万円	5億4579万6千円	2981万4千円 増	5.5% 増
	収益的支出	6億441万9千円	5億7312万3千円	3129万6千円 増	5.5% 増
	資本的収入	1億6526万8千円	1億4546万4千円	1980万4千円 増	13.6% 増
	資本的支出	3億5386万8千円	3億4552万8千円	834万円 増	2.4% 増
	公共下水道				
	収益的収入	8126万8千円	8445万3千円	318万5千円 減	3.8% 減
収益的支出	8055万2千円	7884万3千円	170万9千円 増	2.2% 増	
資本的収入	631万5千円	631万5千円	-	-	
資本的支出	2941万円	3174万円	233万円 減	7.3% 減	
病院事業					
収益的収入	38億6115万6千円	38億3941万円	2174万6千円 増	0.6% 増	
収益的支出	40億5801万7千円	39億2746万円	1億3055万7千円 増	3.3% 増	
資本的収入	4億6780万4千円	2億4490万4千円	2億2290万円 増	91.0% 増	
資本的支出	7億2487万4千円	4億7883万1千円	2億4604万3千円 増	51.4% 増	

構成比は、表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない箇所があります。

令和5年度の事業の一部を紹介します

配食サービス事業

2916万7千円



おおむね65歳以上で食事の確保が困難な高齢者等に食事の提供等の事業を行う。

有害鳥獣捕獲事業

6015万2千円



捕獲されたサル

駆除期間中及び狩猟期間中の有害鳥獣の捕獲補助金を交付する。

交流人口拡大事業

735万1千円



スポーツ合宿等の誘致に向けて目玉となる全天候型体育施設（三重町赤嶺）

スポーツ合宿を行う団体に宿泊費の一部を助成するなどして交流人口の拡大を図る。

多機能型武道場整備事業

5371万円



多機能型武道場建設予定地（三重町赤嶺）

周辺スポーツ施設と連携し、武道競技等の開催を可能とする多機能型武道場を整備する。

椎茸種駒補助事業

1098万5千円



乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため、1万駒以上の植菌者に対し補助をする。

南分署建設事業

7787万6千円



消防本部南分署（緒方町馬場）

消防本部南分署の建設及び庁用器具の購入をする。

各議員の議案に対する賛否の状況(令和5年第1回定例会)

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 衛藤竜哉議員は議長職のため表決権はありません。

件名	議決年月日	議決結果	市民クラブ			創生会			黎明会			政友会		緑政会		川野辰徳	
			穴見眞児	嶺英治	吉藤里美	工藤秀典	佐藤辰巳	赤峰映洋	後藤雅克	高野辰代	田嶋栄一	原田健蔵	春野慶司	佐藤昭生	沓掛義範		小野順一
人事案件																	
豊後大野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	2月20日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市農業委員会委員の任命について（15件）	2月20日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（2件）	2月20日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算																	
令和4年度豊後大野市一般会計補正予算（第10号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算（第3号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算（第3号）	3月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市一般会計補正予算（第11号）	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市一般会計補正予算（第1号）	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正等																	
豊後大野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市国民健康保険条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市子ども・子育て会議条例及び豊後大野市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市三重町駅前広場条例の制定について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市体育施設条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市消防団条例の一部改正について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般																	
公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他の普通地方公共団体の公の施設を豊後大野市の住民の利用に供させることに関する協議について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（多機能型武道場建設用地の取得）	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車の更新）	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
当初予算																	
令和5年度豊後大野市一般会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市国民健康保険特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市介護保険特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市農業集落排水特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市浄化槽施設特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市電気事業特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市上水道特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市公共下水道特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度豊後大野市病院事業特別会計予算	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・意見書																	
介護保険制度改正に関する意見書提出の請願書	3月16日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険制度改正に関する意見書	3月16日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9人の議員が市政を問う

2月28日と3月1日の2日間にわたり行われた一般質問には9人の議員が登壇し、子ども子育て支援、スポーツ施設の整備、防災対策の充実についてなど20項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会日よりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。

また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

一般質問

● 佐藤昭生（8ページ）

- 子ども子育て支援について
- 市内の企業の現状と将来について

● 後藤雅克（9ページ）

- 豊後大野市スポーツ施設の整備等について

● 高野辰代（10ページ）

- 認知症による行方不明への備えと対応について
- 防災対策の充実について
- 豊後大野市関係人口マッチングサイト「ボラホリぶんごおの」について

● 原田健蔵（11ページ）

- 令和5年度施政方針並びに予算編成について
- 福祉施策「重層的支援体制」整備事業について
- 防災士養成事業について
- ふるさと納税について

● 吉藤里美（12ページ）

- 本市における認知症施策について
- スポーツの推進について

● 川野辰徳（13ページ）

- 農業について

● 赤峰映洋（14ページ）

- コミュニティバスについて
- 安心・安全な道路の維持管理について
- 給食費の保護者負担減について

● 田嶋栄一（15ページ）

- スポーツツーリズムの推進について

● 春野慶司（16ページ）

- 公文書管理条例の制定について
- 下水道の受益者負担の公平性について
- 所有者不明土地法、正式な法律名称は「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」による所有者不明土地等対策事業への取組について



※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

子ども子育て支援について

国の少子化対策を注視しながら
市としての支援策を積極的に検討する



さとう あき お
佐藤 昭生
黎明会



質

昨年7月から今年3月まで実施している幼稚園・小学校・中学校の給食費の支援や、乳幼児期の子育て世帯に対して月額5千円支給する制度について、令和5年度にゼロにならないような対策が必要ではないか。

答 生活福祉統括理事

これらの支援は、国による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による臨時的な緊急対策であり、令和4年度限りとなる。令和5年度については、市では、給食費の増額改定を行うが、増額分を市が負担する。また、国による10万円に加えて、出産・子育て応援交付金について市独自に5万円の上乗せを行う。

質

本市にとっては企業があることにより、経済波及効果はもちろんだが、市民の働く場の確保、法人市民税の収入、少子化対策といった利点がある。企業誘致についてどのように考えているか。また、取り組み内容について

企業誘致に対する考えとその取り組みは

市民の働く場の確保や税収の確保に向け取り組みを継続する

答 商工観光課長

市長による本市関連企業本社訪問や、豊後大野市人会及び県東京事務所等へのトップセールスのほか、県企業立地推進課との情報交換、県外企業に向けた市内空き工場の情報提供等、さまざまな

市長による本市関連企業本社訪問や、豊後大野市人会及び県東京事務所等へのトップセールスのほか、県企業立地推進課との情報交換、県外企業に向けた市内空き工場の情報提供等、さまざまな

チャンネルを利用して誘致に取り組んでいる。また、既に誘致した企業に対しては、市長等による定期的な訪問により、企業側の経営状況や課題、事業拡張計画等を情報収集すること、市内事業所の経営安定や地元雇用の維持・拡大等を図っており、企業を誘致した後も継続して支援する姿勢を示すことで、新たな企業が本市への進出を検討する際の重要な要素になると考えている。



トップセールスの様子（東京）



ごとうまさかつ
後藤雅克

創生会



多機能型武道場の規模は

おおむね1900平方メートルを計画している

質

多機能型武道場建設の推進状況は。

答

社会教育課長

令和5年度中に実施設計を完了し、令和6年度末までに完成を目指す。

質

多機能型武道場の規模等は。

答

社会教育課長

三重体育館と三重柔道場の機能を統合し、おおむね1900平方メートルを計画している。バレーボールコート2面、柔道場1面を常設とす

質

全天候型体育施設の備品は。

答

社会教育課長

全天候型体育施設の運営方法等については、野球競技団体や合宿に訪れる大学等の意見を参考に、「ピッチングマシン前、投手前、トス用、防球用、投手用などの各ネットとマット」、「フットサル用ゴール」、「ベンチ」等をそろえる。

質

三重野球場機能改修等については。

質

ネーミングライツの導入については。

答

社会教育課長

令和5年度に三重野球場の外野フェンスを補修し、全天候型体育施設周辺に、合宿等に対応したブルペンを整備する。令和6年度で三重野球場の内野グラウンドの補修を実施する。

答

社会教育課長

大原総合体育館及び大型複合遊具、サン・スポーツランドみえ、三重総合グラウンド、全天候型体育施設、多機能型武道場を総合スポーツ施設として一体的に命名権を募集する。本年4月から募集し、10月から愛称の使用を開始したい。ネーミングライツ料の希望額は年間100万円を下限とする。



多機能型武道場建設予定地
(三重町赤嶺)

今いる場所等の把握が

質

認知症の症状により

認知症による行方不明への 備えと対応は

関係機関の協力で早期発見

難しい場合、関係機関の協力を得て早期に見・保護し、家族の精神的負担軽減等を図る「徘徊高齢者等SOS ネットワーク事業」がある。この事業の流れと登録者数について伺う。

答 高齢者福祉課長

対象は、認知症により行方不明となるおそれのある方で、申請書の提出により登録しており、本年1月末現在の登録者数は118名となっている。

また、警察署に捜索願が出された場合、市



たかの たつよ
高野 辰代

創生会



質 は協力機関へ捜索活動への協力依頼を行う。

通常の見守りに有効な市の事業は。

答 高齢者福祉課長

配食サービス事業と緊急通報装置事業がある。

防災対策の 充実について

備蓄品は市の備蓄
計画に基づき整備

質

本市の防災備蓄品についての計画はあるのか。

答 総務企画統括理事

令和2年7月に策定した豊後大野市備蓄計画に基づき整備している。

質

地元食材を利用した鶏飯や鶏汁など、地元業者の利用について検討できないか。

答 総務企画統括理事

価格や保存年限が備蓄品として適当かどうか調査研究したい。

質

自主避難先としての地区公民館の活用現状は。

答 総務企画統括理事

昨年9月の台風14号では、20カ所に96名の避難者がいた。

質

地区公民館の安全性は、調査し改善に向けて助言等の支援が必要ではないか。

答 総務企画統括理事

地区公民館の安全性の確認は必要なことだと考えている。



「ポラホリぶんごおおの」の
ポスター

豊後大野市関係人口マッチングサイト 「ポラホリぶんごおおの」について

故郷をつなぐシステムをつくる

質

事業の概要について伺う。

答 まちづくり推進課長

担い手不足の解消等を目的に、豊後大野市出身者等受入事業助成金制度を創設した。

※ポラホリの意味は、ボランティアのポラと、ホリデーのホリを組み合わせた造語です。



原 田 健 蔵

黎明会



ふるさと納税の現状は 令和3年度は約1億円の黒字となった

質

最近5年間の納税寄附額の実績は。

答 総務企画統括理事

平成29年度が8200万円、30年度が9500万円、31年度が1億5800万円、令和2年度が2億7400万円、3年度が2億2800万円となっている。

質

令和3年度の黒字額と令和4年度の見通しは。

答 総務企画統括理事

この制度では返礼品代金とともにサイト掲載に係る委託料や配送料などが経費として発生するが、受け入れた寄附額から諸経費を差し引いた金額は、約

質

1億円の黒字となった。令和4年度は12月末時点で、寄附額が約1億6千万円、黒字額は9千万円程度となっている。

質

ワンストップ特例の申請を受けられている人数と控除額は。

答 総務企画統括理事

本市に課税権がある方で、本市以外にふるさと納税されている方は、令和4年12月末時点で436人、市民税控除額は約1850万円。そのうち、ワンストップ特例申請制度を利用されている方は211人となっている。

質

人気返礼品ベスト3

答 総務企画統括理事

令和4年度の人気返礼品は、1位乾し椎茸、2位は梨、3位はおおいた味力（みりょく）ソーセージセットで、例年同様の結果と

質

今後の課題は。

答 総務企画統括理事

毎年、全国のふるさと納税市場が過去最高額を更新する一方、制度の在り方や返礼品競争の激化が問題視されている。このような中、本市では人気の返礼品とな

質

なっている。そのほかには、甘太くんや野菜ジュースなどが人気返礼品となっている。

今後、市内の魅力あふれる特産品を全国に向けて発信する絶好の機会と捉え、この制度を大いに活用し、その認知度や魅力度を大きく向上させたいと考えている。

その他の質問

- 令和5年度施政方針並びに予算編成について
- 福祉施策「重層的支援体制」整備事業について
- 防災士養成事業について

人気返礼品ベスト3



1位 乾し椎茸



2位 梨



3位 おおいた味力ソーセージセット

本市の認知症に関する事業の利用状況は。

質

認知症施策の充実を

軽度認知障害の早期発見に努める

「医療・ケア・介護サービス・介護者への支援」では、医療や介護につながっていない方について、「認知症

「普及啓発・本人発信」では、認知症サポーター養成講座を実施し、これまでに7889人の方が受講している。「予防」では、軽度認知障害（MCI）の段階で認知症予防につながる「脳の健康度チェック講座」を開催し、令和4年度は10地域で95人の参加があった。

答 高齢者福祉課長



よし ふじ さと み
吉 藤 里 美
市 民 ク ラ ブ



初期集中支援チーム」で包括的な支援を行っており、令和3年度から4年度において延べ20件を支援し、うち17件を必要な医療や介護につなげることができた。

質

地域の見守り体制について伺う。

答 高齢者福祉課長

地域包括支援センター職員との訪問による見守りとともに、地域の自治会役員や民生委員、福祉委員をはじめとした住民の自主的な見守りや声かけが行われている。

今後、さらに地域の見守り体制の推進を図っていく。

質

課題と今後求められる対策は。

スポーツ推進で健康寿命延伸を

スポーツを通じた市民の健康づくりに取り組む

答 高齢者福祉課長

「脳の健康度チェック講座」について、今後は受講者の年齢層を上げていくことで早期発見につなげていく。

質

スポーツイベント（教室）の開催などスポーツに親しむ機会の提供状況は。

答 社会教育課長

総合型地域スポーツクラブやスポーツ振興



棚田ウォーク（緒方町軸丸）
（おがたいきいきスポーツクラブ ネスト）

会等において、スポーツ大会をはじめ、体力測定やペタンク、スポーツ玉入れ、ウォーキングなどを企画し、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる多様な活動に取り組んでいる。



かわの たつ のり
川野辰徳

無 会 派



農業について

市独自の支援策を引き続き検討する

質

令和4年12月定例会での一般質問で、農業について経営の面、特に経費の部分を具体的に発言したが、昨今の急激な物価高騰に比例して、農業資材の高騰も農家にとっては大きな課題となっている。そこで、農家を守っていく具体的な支援策、補助策について伺う。

答 農業振興課長

円安やロシアのウクライナ侵攻の影響を受け、農業分野においては、農業生産資材をは

じめ、化学肥料、配合飼料、燃料などが値上がりし、農家負担が増大する事態となった。このような状況の中で、本市は令和4年度において、次のような対策を講じてきた。

まず、資材費高騰の影響が大きいビニールハウス等整備事業において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した豊後大野市園芸用資材高騰対策緊急支援事業を創設した。

肥料の高騰対策については、国が実施する肥料価格高騰対策事業に加え、県の耕畜連携堆肥活用推進事業により、地域資源である牛ふんや豚ふんなどの堆肥導入による経費節減に資する取り組みを行っている。また、市の単独事業として、豚ふん堆肥活用実証事業

を実施している。飼料価格高騰については、豊後大野市飼料高騰対策事業を創設し、令和4年度1年間分の配合飼料及び粗飼料の購入に対する支援を行う。

燃油高騰に対する支援は、県の施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業を活用した光熱費削減の取り組みや、施設園芸省エネルギー化緊急対策事業による経費節減対策を実施してい

る。また、国の施設園芸等燃料価格高騰対策事業は引き続き加入推進を図っていく。今後は国・県が行う事業等の活用と併せて市独自の支援策についても引き続き検討していく。



ふるさと納税返礼品の梨を栽培している梨園
(後藤梨園・大野町)

給食費の完全無料化は

難しいと判断している



あか みね てる ひろ
赤 峰 映 洋

創 生 会



から3月まで小中学校の保護者が負担する給食費の支援を行った。

また、就学前の子育て世帯には、補正予算を組み、給食費相当額を給付している。

この負担軽減策は令和5年度以降も続けるのか。また給食費の完全無償化の考えはないのか。

答 学校教育課長

質 本市は物価高騰対策として、保護者の負担軽減を図るために、令和4年度に限り、7月

令和5年度の給食費については物価高騰を受け、月額で幼稚園1000円、小中学校で3000円の増額改定を

コミュニティバスの 利便性向上について

鉄道や路線バスとの共存を図る

行った。ただし令和5年度は、その給食費の増額分を市が負担することとした。

また、完全無償化は、かなりの財源が必要となり、実施は難しいと判断している。

答 まちづくり推進課長

平成26年度の3万5938人をピークに、毎年約7%ずつ減少し、令和2年度には前年度比21・8%まで減少した。利用者満足度調査による意向把握や、老人会等での利用者の声の吸い上げにより、市民へ公共交通の利用を促す取り組みを行っている。

質

平成26年をピークにコミュニティバスの利用者大幅に減少して

市道の維持管理は

適切な道路環境の維持に努める



途中で白線が消えている道路

質

全国的に問題視されている、老朽化した橋梁、トンネルの点検はどのような基準で行っているのか。

答 建設課長

5年ごとに点検を行い、直接目視等により健全度の把握をしている。

質

各道路でセンターライン等の白線が消えていたり、薄くなっているところがあるが、その調査や確認は。

答 建設課長

自治会の要望や道路利用者からの通報、職員の巡視等により把握している。



い ち えい し ま た
一 栄 嶋 田

会 明 黎



スポーツツーリズム推進策は

スポーツ合宿を誘致する

質

全天候型体育施設がスポーツツーリズム推進の核として機能するには、効果的かつ継続的に利用可能な施設にすることが重要だが、その対策は。

答 市長

雨天でも練習環境が確保できるメリットや、駅から徒歩で移動できる動線をアピールポイントとして誘致活動をしていきたい。なお、緒方やまびこ球場で関西国際大学硬式野球部の約60人が合宿を行っ

たが、このような団体に継続して利用していただくためにも、アンケートや聞き取りを行い、ニーズに合った環境の充実を図っていく。

質

スポーツコミッションとは具体的にどのような組織か。

答 市長

官民一体となってスポーツ大会、イベント、合宿の誘致、交流による地域活性化を目指すための組織であり、豊後大野市スポーツツーリズム推進協議会がその役割を担っている。本協議会は、スポーツ関係団体や観光関係団体等で構成され、情報発信及び情報収集等を活動方針としている。

質

地域経済の具体的な活性化策は。

答 市長

スポーツツーリズムの推進を加速するため、当初予算で関連するものを一本化し「スポーツツーリズム推進事業」として編成した。具体的には、宿泊費用の一部助成や地域交流イベント事業の関連予算を令和4年第1回定例会に提案した。

質

スポーツツーリズムを地域づくりにどのように結び付けるのか。

答 市長

観光や交流が行われることにより、本市の認知度も向上し、市内スポーツ人口の増加、競技力の向上が図られ、スポーツ関係者などが



全天候型体育施設（三重町赤嶺）

本市への移住や定住を考えるきっかけにもつながると捉えている。庁内組織の連携は重要で、横断的に関わることで最大の効果を生み出すよう取り組んでいく。

所有者不明土地法への 取り組みについて

国の動向を見極めながら調査、研究する



はるのけいし
春野慶司

黎明会



質

この法律は平成30年に制定され、令和4年11月1日に本格運用となった。

所有者不明土地は2016年現在で410万鈔と推計されている。これは九州の面積367万鈔よりも広い面積である。

所有者不明土地のために災害復旧工事の着手が困難となっているなど公共事業等における支障事例が散見されている。

なお、所有者不明土地は、登記簿に所有者

の記載があつても、その所有者が亡くなったあとに相続人が相続手続をしないことにより問題化していく。今後、本市でも公共事業などを進めていく上で、差し障りが生じてくることが予想されるため、他市町村に先駆けて取り組むことを提案したい。

答

総務企画統括理事
所有者不明土地が東日本大震災の復旧・復興事業などの妨げになっていたことを契機に、平成30年に法律が制定された。

その後、所有者不明土地のさらなる増加が将来的に見込まれることから、令和4年11月1日に一部を改正する法律が施行された。

また、所有者不明土地対策の着実な推進に向けて、計画の策定や

市町村による行政的措置を可能とする制度、使われていない土地の有効活用に取り組む法人の指定制度などに対する補助制度も創設された。

今後、国がどのような制度を構築していくかを見極めながら調査、研究していく。

- その他の質問
- 公文書管理条例の制定について
 - 下水道の受益者負担の公平性について



災害復旧工事にも支障を及ぼす
所有者不明土地

2022市民と議会の意見交換会での意見に対しての 執行部回答と各常任委員会での調査結果

11月に開催した「2022市民と議会の意見交換会」の中でいただいた意見のうち、執行部の見解が必要なものは、書面での回答を求めています。

また、調査が必要なものは常任委員会です管事務調査等を実施しました。

今回、その回答が提出されましたので、内容の一部を要約して紹介します。(17～19ページ参照)

出された回答や取り組みの推移などは、議会として今後にも注視していきます。

※出された回答はホームページにも掲載しています。

豊後大野市ホームページ
↓
豊後大野市議会
↓
市民と議会の意見交換会



意見1 農地の地目変更ができないと建築物がなかなか建てられないと聞く。本市の地目変更の基準は厳し過ぎるのではないか。

執行部の回答

申請者から農地転用等の相談があった場合、国が作成した全国一律の許可基準に照らしながら、農業委員会定例総会において許可等の判断を行っています。

農業委員会としては、農地を守る立場から、まずは農地以外に代替地はないか、転用の内容が周辺の農地の営農条件に支障がないかなどを確認しながら申請を受け付けることになりました。

このように、農地の地目変更については、農地法に基づき審査しており、市の農業委員会で独自に許可を出すことはできません。また、許可等の判断が難しい案件については、県や農政局の指導を仰ぐ流れとなっておりますのでご理解をお願いします。



市内の農地

意見2 朝倉文夫記念公園の中に野ざらしになっている重機があるのはなぜか。また、朝倉響子氏の作品に5年間にわたってカバーが掛けられ、何の標識もないのはなぜか。

執行部の回答

重機は朝倉先生自身が公園建設計画を推進する中で、昭和37年に地元へ寄贈されたもので、その当時、土地を造成する際に実際に使用されていきました。この重機を復元し、公園計画のシンボルとして、平成2年に現在の位置に設置しました。現時点で重機の塗装や洗浄等が行き届いていない状況であるため、今後のあり方を検討します。

朝倉響子先生の作品に5年間カバーを掛けていたことについては、作者のご遺族から作品の公開の承諾を得ていない段階だったため、必要な措置でした。作品の標識については、作者の意向もあり、目立たないよう作品名等の表示をしてきませんでした。今後は、ご意見も参考にし、より良い表示を検討します。



寄贈された重機



カバーを掛けていた作品
(作品名：ふたり)

総務常任委員会

■指定管理者選定等委員会委員の選定について

市民の意見 1 豊後大野市の指定管理者の選定には条項にはっきりした決まりがない。他市のように、外部の者が2分の1以上いなければならないといった定めはない。透明性の確保のためにもそういった条項をつくる働きかけをお願いしたい。

市民の意見 2 関係人口交流拠点施設(ココミオ)の指定管理の選定委員の選定方法は、まちづくりの課長によると公募で選んだとはっきり議会で答えている。一般市民も応募できるのなら、一般市民から2分の1以上を選ぶという規則にしていきたい。

〔総務常任委員会の調査結果〕

これまで施設等の指定管理を実施する場合には、豊後大野市指定管理者選定等委員会設置要綱に規定された、主に副市長や統括理事等を委員とした選定委員会を開催し、申請団体等の書類審査や面接審査等により、指定管理候補者の選定を行ってきました。

しかしながら、令和4年6月に開催された第2回定例会の一般質問の中で、指定管理者選定等委員会の公平性、透明性の確保という観点からみれば、識見を有した外部委員を積極的に活用すべきではないか等の指摘があったことから、執行部として、専門性や公平性に基づく委員の構成や、効果的、効率的な委員会開催に向けた担当事務局の選任等について検討を重ねてきました。

その結果、令和4年8月に実施した、豊後大野市関係人口交流拠点施設に関する指定管理候補者の選定に際しては、当該施設に特化した指定管理者選定等委員会設置要綱を制定し、委員会においては全5名の委員の中に3名の外部委員を選任し、実施したとのことです。

今後の指定管理者選定等委員会の委員の選定に関しましては、①新規の施設等について、新たに指定管理者制度を導入する場合、②指定管理委託料の財源に国、県の補助金が含まれている場合、③KPI等の成果指標等が設定されている場合、④他の自治体と共同で指定する場合、などについては、原則、対象施設に特化した指定管理者選定等委員会設置要綱を個別に制定し、選定委員の構成も個別施設に関する識見を有した外部委員を活用し、専門性や公平性のある効果的、効率的な選定委員会の開催に務めるとのことでした。

なお、関係人口交流拠点施設の指定管理候補者選定委員は公募しておらず、まちづくり推進課長からも、議会では「選定委員を公募した」旨の発言は行っていないとの回答がありました。

以上の内容を検討した結果、豊後大野市関係人口交流拠点施設の指定管理候補者の選定については、識見を有した外部委員が含まれる選定委員会において、公平かつ効果的に行われたと認められます。

今後の指定管理者選定等委員会においても、一定の要件(例：KPI等の成果指標が設定されている場合等)を満たした施設については、識見を有した外部委員を活用していくことから、専門性や公平性のある効果的、効率的な選定委員会の開催が期待できると結論づけました。

産業建設常任委員会

■ 俵楽の郷伝承体験館と絹さん人形について

市民の意見 今、俵楽の郷は地元の子どもたちが太鼓の稽古等で利用しているかもしれないが、何もしていないように見える。あの施設は確か指定管理料が出ているはずだが、何もしなくても施設を維持するためだけにお金は出るのか。

資料館が三重町に移るときに絹さん人形を全部持って行くという話だったが、実際は10点ぐらいしかない。これをどう判断したらいいのか。絹さん人形も劣化しているものを全部修復作業するのと思ったが、新しい資料館に持って行くものだけ修復しているようだが、どうなっているのか。

〔産業建設常任委員会の調査結果〕

俵楽の郷伝承体験館は、平成30年度に9,982人と最高の利用者数でしたが、コロナ禍で令和2年度以降の利用者数が10分の1まで落ち込み、令和4年度の11月までの利用者数は547人です。

商工観光課は方向性として、体験型の観光拠点施設としての誘客を図ってきましたが、施設利用者の増加が見込めなくなり、市の体験型観光はアウトドアサウナを中心に展開していくという方針を定めました。



そのことから、俵楽の郷伝承体験館を終了し、民間事業者の企画提案による募集を令和5年度から開始するため、条例の廃止が令和4年度第4回定例会で提案されました。指定管理期間終了後に速やかに物品の搬出を行い、本施設を民間事業者による管理、運営へと移行し、施設の有効活用をするため、利用条件を付さず広く企画・提案の募集が行われます。なお、公募の時期については、現時点では5月以降が予定されています。

また、絹さん人形については、俵楽の郷伝承体験館にある説明用の資料と合わせて豊後大野市資料館の古民家前に展示する方法で準備に入っております。資料館は入館料の規定がないので無料で見ることができ、常設展示が企画されています。

絹さん人形全286点を点検し、そのうち破損等が顕著にみられる250点の状態を調査した結果、土台の段ボールと紙粘土の人形を支える釘等が汚損しているものが190点ほど見受けられました。

調査・修復作業を担った別府大学からの報告書が届き次第、最適な保存や展示の方法を協議し、効果的な展示ができるようにしていく予定です。また、学校や市役所2階等の日当たりが良く、紫外線が多い場所での展示は、彩色の退色・紙粘土の劣化が早くなるので、保存方法を含め専門家の意見を聞いて、どのように対応するか検討しています。

事務事業評価

執行部の回答は・・・

令和4年9月定例会において各常任委員会で事務事業評価を行い、評価報告書を執行部へ渡し、改善策や次年度の予算への反映状況などを報告するよう求めていました。今回、評価報告書に対する回答が執行部からありましたのでご紹介します。なお、評価報告書の詳細は議会だより声のかけ橋第78号に掲載しています。

評価報告書の概要

総務常任委員会

厚生文教常任委員会

産業建設常任委員会

- ◆【調査事業】 公用車管理事業
【事業結果の評価】 おおむね適正
【今後の方向性】 継続
- ◆【調査事業】 社会福祉協議会 支援事業
【事業結果の評価】 良好
【今後の方向性】 継続
- ◆【調査事業】 園芸産地整備事業
【事業結果の評価】 良好
【今後の方向性】 継続
- ◆【調査事業】 結婚新生活支援事業
【事業結果の評価】 おおむね適正
【今後の方向性】 拡充
- ◆【調査事業】 教育支援センター 運営事業
【事業結果の評価】 良好
【今後の方向性】 継続
- ◆【調査事業】 里の旅公社補助事業
【事業結果の評価】 かなり問題
【今後の方向性】 改善

総務常任委員会

【事業名】 公用車管理事業

【回答（抜粋）】

今後も集中管理のメリットである事務効率化を図りながら、複数のチェック体制を取ることにより、人為的ミスをなくすための取り組みに努めます。

世界的にも環境問題への対応が求められている中、公用車につきましても、車両更新基準（初回登録より13年以上または総走行距離13万km以上）に基づき購入や廃車に取り組みます。

車両更新の方法として提言にもありました、税金、車検、メンテナンスが費用に含まれているサブスクリプション等を利用することにより、維持管理費

等の削減を図ることができると考えられます。

しかし現在、車両購入や車検及び修繕は市内業者を優先して発注しており、公用車管理事業としては地域経済の活性化に少しでも貢献できていると考えています。

環境問題、維持管理費、地域経済のそれぞれに目を向け、引き続き適性な維持及び管理にて事業を遂行していきます。



市の公用車

【事業名】 結婚新生活支援事業

【回答（抜粋）】

本事業は結婚に伴う新居の家賃、引っ越し費用等を支援する地方公共団体を対象に、国が支援額の一部を補助する「地域少子化対策重点推進交付金」を活用した事業です。

令和4年度当初予算では300万円を計上していましたが、申請件数の増加が見込まれるため、令和4年第4回定例会において180万円の増額補正を行ったところです。

今後においても、国の動向を注視しながら、本市のニーズに対応した少子化対策に引き続き取り組んでいきます。

※サブスクリプション=商品やサービスを所有・購入するのではなく、一定期間利用できる権利に対して料金を支払うビジネスモデルのこと。

厚生文教常任委員会

【事業名】
社会福祉協議会支援
事業

【事業名】
教育支援センター
運営事業

【回答（抜粋）】

市地域福祉推進大会については、令和4年度はエイトピア大ホールで開催し、コロナ禍前と同様の内容で実施します。

本市の第4次地域福祉計画のもとに社会福祉協議会で策定した活動計画では、「地域福祉の担い手の育成」が推進項目にあります。

具体的な取り組みでは、ボランティア養成講座の開設や地域福祉推進リーダーの発掘・育成を新たに掲げており、この具体的な取り組みを進める中で課題解決に向かうことを考えています。

【回答（抜粋）】

不登校児童生徒にとっては、交通機関を利用しての通室が困難なことが多い現状があります。地域公共交通活性化会議等の他団体との協議について、その必要性が高まりましたら検討してまいります。

三重町以外の開室



教育支援センター「かじか」（三重町内田）



については、不登校児童生徒の状態や保護者等との相談を通じたニーズ及び必要性、専門職等の配置を十分に検討し、より効果のある運営を検討します。

今後も教育支援センター「かじか」、スクールソーシャルワーカー、福祉関係機関等との連携を図り、個々の不登校児童生徒の状態に応じた対策を講じてまいります。

産業建設常任委員会

【事業名】
園芸産地整備事業

【事業名】
里の旅公社補助事業

【回答（抜粋）】

令和3年度決算において不用額が多かったとの指摘については、令和4年度予算で事業が完了し、額が確定したものについて、補正予算により減額を行いました。

また令和3年度事業において事業取り下げが見えられたことに対しては、年度当初から事業実施主体との打ち合わせを重ね、慎重に事業を推進しました。その結果、令和4年度当初予算に計上した事業のうち、取り下げの申し出は1件にとどまりました。

労働力不足解消の問題については、法人や

農家各位に広く周知を行い、問題解決に向けたフォローアップを図ります。

今後も引き続き、国・県等の有利な補助事業や、市独自の補助事業を活用した支援に取り組みます。また、関係機関と連携しながら新規就農者をはじめ、農家支援を図ってまいります。



市内のさといも畑

【回答（抜粋）】

里の旅公社においては、令和4年度にツーリズム推進協議会を設立し、市内事業者との連携・情報交換などの取り組みも始まっています。また、名称の変更、事務所移転の検討を行うなど、組織の見直しも進めています。

今後も自主財源の確保等、改善に向けた協議を進め、その使命や役割が十分に発揮されるよう指導します。引き続き観光振興ビジョンを基本とし、体験型・交流型を取り入れたツーリズム商品を造成するなど各種事業に取り組みます。



委員長 赤峰映洋

2年間、広報委員長として、市民の皆さまに親しまれる議会だよりになるよう編集に取り組んできました。
作業の合間に委員全員で現場に足を運んで実施した写真撮影は、地域の実情も知ることで、貴重な経験になっていきます。
この議会だよりが、これからも多くの市民の皆さまに愛読されることを願っております。



委員 小野順一

議会だより「声のかけ橋」は、市民の皆さまに議会活動を知っていただく貴重な広報紙です。
「見やすく・分かりやすく・読んでみたい」と思われる紙面づくりに努めてまいりました。どのように受け止められているか心配もありましたが、市民の皆さまから届く声が集積活動の支えとなりました。
ご愛読ありがとうございました。



委員 工藤秀典

ご愛読、誠にありがとうございました。
いかに見やすく、分かりやすい文面にするかを常に意識して取り組みました。
また、限られた紙面で幅広い年代の方々のように伝えるのかということが難しい課題でした。
今後もぜひ「議会だより声のかけ橋」をよろしく願います。

2年を振り返って

広報委員を務めた6名から



副委員長 高野辰代

新人議員として、議会だよりの作成に携わることができたことに感謝いたします。
各議員の一般質問が映像で見られるように、紙面にQRコードを入れるなど新しい取り組みができました。
これからも、議会を身近に感じていただけるように工夫をしていきたいと思えます。
2年間ありがとうございました。



委員 川野優治

「声のかけ橋」で議場の雰囲気や市民の皆さまに忠実に伝えようと思えばできてきました。ただ、今振り返って考えてみると、まだまだ不十分だったように思われます。
今後、広報委員会がさらなる高みを目指して良い広報紙づくりに励むことを期待しています。
2年間ありがとうございました。



委員 川野辰徳

あつという間でしたが、赤峰委員長と辰代副委員長をはじめ、優治委員、小野委員、秀典委員のおかげで悔いのない「議会だより」ができましたと今は思っています。
去年10月に勉強のため、視察に行ってきたので、機会があればまたやりたいと思っています。

いくさん
韓国益山市議会訪問団の受け入れ

令和5年3月15日に、本市の友好交流都市である韓国益山市の議員7名の皆さまが、豊後大野市議会を表敬訪問されました。

市役所5階の委員会室で意見交換会が行われ、両市の現状や取り組むべき課題などについて活発に話し合いました。意見交換会終了後、益山市議の皆さまは市内で視察研修を実施しました。



「議会だより声のかけ橋」
第79号についてのお詫び

訂正箇所：「議会だより声のかけ橋」
第79号8ページ

「議会だより声のかけ橋」第79号において誤った表記がございました。右記のように訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

訂正内容：杓掛義範議員の一般質問「市が運営する学習塾について」の中で、答弁者が「農業振興課長」となっていますが、正しくは「学校教育課長」でした。

議会日誌

1 月

- 5 日(木) 議会広報編集特別委員会
- 10 日(火) 議会広報編集特別委員会
- 16 日(月) 議会広報編集特別委員会
- 17 日(火) 議会運営委員会
議会活性化委員会
- 24 日(火) 総務常任委員会（所管事務調査）

2 月

- 13 日(月) 議会運営委員会
- 17 日(金) 議会運営委員会
- 20 日(月) 第1回定例会開会（議案上程）
議会活性化委員会
議会広報編集特別委員会
- 28 日(火) 本会議（一般質問）

3 月

- 1 日(水) 本会議（一般質問）
- 6 日(月) 本会議（議案質疑）
議会運営委員会
- 7 日(火) 議会運営委員会
常任委員会
（総務・厚生文教・産業建設）
- 9 日(木) 予算特別委員会（特別会計）
議会活性化委員会
- 10 日(金) 予算特別委員会（一般会計）
議会運営委員会
- 16 日(木) 本会議（閉会）
議会運営委員会
- 29 日(水) 総務常任委員会（所管事務調査）

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



ありがとうの木

清川小学校では、学年関係なく、仲良く元気に遊んでいます。さらにみんなが仲良くなるために、「ありがとうの木」の取り組みがあります。

ありがとうの木は、友達の良いところやありがとうと思ったことを、花の形の紙に書いてみんなに紹介する取り組みです。

給食の時間に放送で紹介したり、階段に貼られた木に飾ったりしています。放送で自分の名前がでるとうれしくなります。

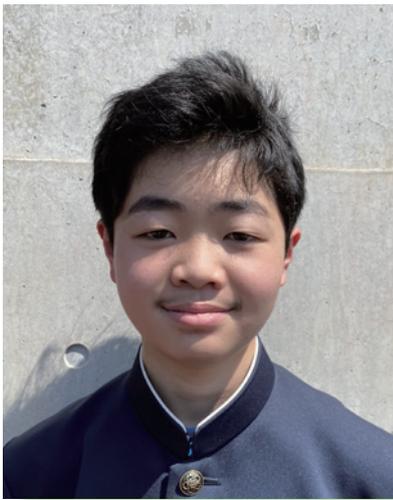
これからもこの活動を続けていきたいです。



清川小学校 6年

や し ま	り お
矢 島	理 央 (左)
わ だ	し ん
和 田	真 (右)

中期の活動「要」を目指して



朝地小中学校 8年

く ど う	ち ひ ろ
工 藤	千 寛

令和3年4月1日に開校した朝地小中学校は、1年生～4年生の前期、5年生～7年生の中期、8年生～9年生の後期と3期で構成されています。今回は中期の取り組みを紹介します。

中期は下の学年も上の学年も支える「要」という位置づけを3学年全員で確認し、1年間の目指す姿(目標)を話し合うところからスタートしました。具体的な活動として、①年3回の中期集会、②学期に1回の自学ノート交流、③総合学習交流会、④百人一首大会、⑤代表者会議を主に取り組んできました。

成果として、目指す姿に対して各学年が設定した重点目標の振り返りを毎月月末に行い、その後、代表者会議で翌月の活動を話し合うというPDCAサイクルのマネジメント意識が定着してきたことです。また、3学年系統性のある総合的な学習の時間では、異学年との協働学習において、絆を深めることができました。しかし、本当の意味の「要」にはまだ足りていない部分もあり、新たな課題も見えてきました。

これからも、みんなが笑顔で学校生活を送れるよう、中期全員で同じ目標に向かって取り組んでいきたいと思えます。

委員 長	副委員 長	委員	広報編集特別委員会		
赤 峰	高 野	小 野	川 野	工 藤	川 野
映 洋	辰 代	順 一	優 治	秀 典	辰 徳

議会を傍聴してみませんか？

次回6月定例会は6月12日に開会予定です。

市議会ホームページでは議会だよりの音声版を聴くことができます。